

# 参 考 資 料

第 9 1 9 回定例会（令和 7 年 8 月）

- 報告第 3 号  
令和 7 年度全国学力・学習状況調査の結果について P 1 ~ P 5
- 議案第 2 号  
県重宝の指定及び県天然記念物の指定の解除について P 6 ~ P 12

# 令和7年度全国学力・学習状況調査の本県における結果について

## (1) 本県（公立）の平均正答数・平均IRTスコア

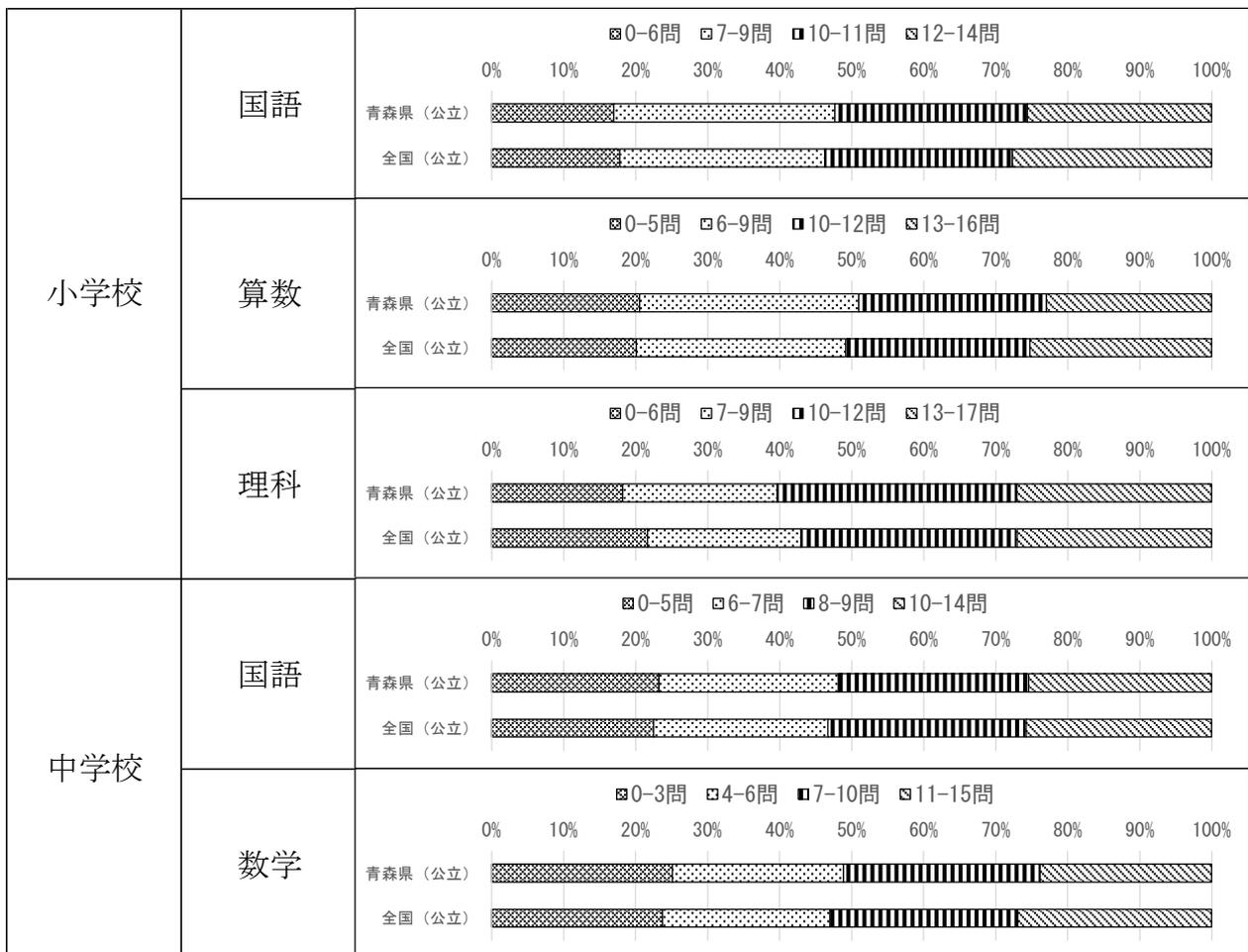
平均正答数					平均IRTスコア
小学校			中学校		中学校
国語	算数	理科	国語	数学	理科
9.3/14問 (9.4/14問)	9.1/16問 (9.3/16問)	10.0/17問 (9.7/17問)	7.5/14問 (7.6/14問)	7.0/15問 (7.2/15問)	507 (503)

※表の値は、本県（全国）である。

※中学校理科は、CBT（Computer Based Testing）で実施し、IRT（項目反応理論）に基づき算出したスコアにより結果を表示している。

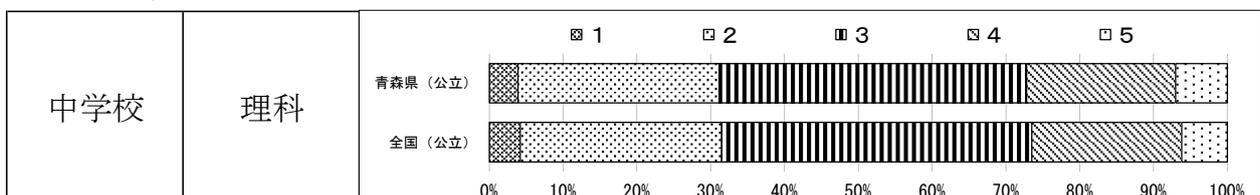
## (2) 分布比較

### ①正答数層分布



※正答数層分布は、正答数に応じて4つの区分に分けてその構成を示したもの

### ②IRTバンド分布



※IRTバンド分布は、5つの区分に分けてその構成を示したもの

(3) 校種ごとの調査結果を図示したもの

① 小学校

学校数	児童数
242	8,094

[教科を中心とした学力・学習状況]

(全国基準)



[その他の学力・学習状況（学習習慣、自己有用感等）]

(全国基準)



② 中学校

学校数	生徒数
144	7,889

[教科を中心とした学力・学習状況]

(全国基準)



[その他の学力・学習状況（学習習慣、自己有用感等）]

(全国基準)



※文部科学省が作成した教科に関する調査及び児童生徒質問調査の結果を標準化したチャート

#### (4) 児童・生徒質問調査について

※表の数値は、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」又は「している」「どちらかといえばしている」等の合計で、( )内は全国平均との差である。

##### ①主体的・対話的で深い学びに関すること

###### ・小学校

	質問事項	令和7年度
(31)	5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していますか	68.2% (-0.4)
(32)	5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか	82.6% (+2.3)
(33)	5年生までに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか	80.3% (+2.5)
(34)	5年生までに受けた授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていましたか	86.4% (+3.0)
(35)	学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか	86.7% (+1.8)
(37)	授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができると思いますか	86.4% (+3.9)
(39)	授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか	94.0% (+2.1)

###### ・中学校

	質問事項	令和7年度
(31)	1、2年生のときに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか	58.7% (-4.3)
(32)	1、2年生のときに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか	78.8% (+1.1)
(33)	1、2年生のときに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか	71.9% (+1.3)
(34)	1、2年生のときに受けた授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていましたか	81.0% (+1.7)
(35)	学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか	86.0% (+1.3)
(37)	授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができると思いますか	78.9% (+4.1)
(39)	授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか	92.6% (+0.7)

## ②その他の学力・学習状況

### ・小学校

主体的な学習の調整に関すること

	質問事項	令和7年度
(16)	分からないことやくわしく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか	<b>85.9%</b> (+4.2)
(36)	学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか	<b>83.0%</b> (+3.6)

### ・中学校

向社会性に関すること

	質問事項	令和7年度
(8)	人が困っているときは、進んで助けていますか	<b>91.3%</b> (+0.4)
(9)	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	<b>96.3%</b> (+0.4)
(11)	人の役に立つ人間になりたいと思いますか	<b>96.7%</b> (+0.1)
(27)	地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか	<b>79.3%</b> (+4.0)

こどものウェルビーイングの実現に関連が深いと考えられる項目

①小学校



②中学校



(注) 『令和5年度全国学力・学習状況調査ウェルビーイングに関する分析報告書—学校という「場」のウェルビーイングの醸成に向けて—』(京都大学 内田由紀子氏・奥田麻依子氏)を参考にし、青森県教育委員会が独自に作成したチャート

## 県重宝（考古資料）の指定について

- 1 文化財の種別 県重宝（考古資料）
- 2 名称 こまきのいせきしゅつどひん  
小牧野遺跡出土品
- 3 員数 67点  
(土器11点、石器8点、土製品27点、石製品21点)
- 4 所在地 青森市大字野沢字沢部108-3
- 5 所有者 青森市
- 6 構造及び形式 大型壺形土器ほか（別紙のとおり）
- 7 大きさ 別紙のとおり

### 8 由緒及び沿革

小牧野遺跡は、青森市中心部から南西へ約9.5km、八甲田山西麓の堤川水系・荒川と入内川に挟まれた標高80～160mの舌状台地に位置する、縄文時代後期前半（約4,000年前頃）の環状列石を特徴とする遺跡で平成7年に国の史跡に指定された。

環状列石は直径約55mに及び、平成元年に青森山田高等学校等、平成2年から平成17年には青森市教育委員会による発掘調査が実施された。このほか、竪穴建物跡や貯蔵穴、捨て場跡など生活維持に必要な遺構、土坑墓群や土器棺墓といった墓制に関わる遺構が確認されている。

青森市教育委員会による発掘調査の出土品量は、土器、石器、土製品、石製品合わせて324箱分にのぼる。年代は、縄文時代後期前半がほとんどである。土器は、深鉢や浅鉢、壺形のものなどを含む約150箱分が出土しており、復元品は約200点を数える。石器は、石鏃、石錐、石匙、石篋、磨製石斧などが2,709点、土製品は、土偶、ミニチュア土器、鐸形土製品、耳飾、有孔土製品、土器片を利用した製品などが852点、石製品は、三角形岩版、円形岩版、有孔石製品などが920点出土している。

本遺跡からは、墓域や捨て場跡を中心に、土器や石器など日常的に使用されていた道具のほか、土偶や動物形土製品、鐸形土製品、三角形岩版など祭祀的色彩の強い遺物が多く出土していることが注目される。

### 9 現況

平成25年に青森市有形文化財に指定され、青森市小牧野遺跡保護センターに収蔵されている。保存状態は良好である。

### 10 指定事由

縄文時代における生活や精神文化の研究に大きく寄与する資料であるとともに、史跡小牧野遺跡の環状列石の用途や性格を解明する上で極めて重要な資料であり、県重宝（考古資料）として指定に値する。



## 土器

11点

番号	高 (cm)	口径 (cm)	底径 (cm)	品質形状等	掲載番号	出土地点 層位
1	(57.0)	20.4	-	壺形土器、橋状把手、沈線、胴部の最張部付近から口縁部にかけて、縦位に敲打による欠損有り。	30集 第4図-1	土器埋設遺構No. 1(H元) 埋設土器
2	5.8	-	6.1	浅鉢形土器、沈線、3壺形土器の蓋として使用	30集 第4図-3	土器埋設遺構No. 1(H元) 埋設土器
3	19.5	11.4	-	壺形土器、沈線	30集 第4図-2	土器埋設遺構No. 1(H元) 埋設土器
4	(35.0)	30.5	-	深鉢形土器、沈線	30集 第4図-4	土器埋設遺構No. 2(H元) 埋設土器
5	48.2	18.8	-	壺形土器、橋状把手、沈線、赤彩	30集 第4図-9	昭和40年代出土の土器棺 埋設土器
6	52.3	16.4	19.5	壺形土器、橋状把手、沈線	85集 第23図-1	第7号特殊組石
7	40.1	30.3	11.8	深鉢形土器、沈線、磨消縄文(渦巻文、LR)	30集 第51図-3	第3号埋設土器遺構 埋設土器
8	30.7	7.6	9.8	切断壺形土器、沈線(輪ゴム状、渦巻文)、赤色顔料	30集 第42図-4	128土坑 覆土
9	11.1	15.7	6.1	鉢形土器、沈線、磨消縄文(弓矢状、樹木状文、RL)	30集 第22図-11	竪穴式住居跡 覆土2~3
10	10.4	6.8	5.3	注口土器、平坦口縁、注口の根本に加飾、櫛歯状沈線(連携S字状文、連携山形文、反転すると楕円形文や連結C字状文)、報告書Ⅲ-5類	70集 第14図-39	R-10 IV層
11	(16.5)	17.3	16.0	異形土器、上部から側面にかけて開口、上部(天井)は無文、側面と底辺に隆帯(長楕円形文、楕円形文、方形区画文)報告書Ⅲ-4類、市指定時覆付角底形土器	70集 第14図-38	V-10 IV層

## 石器

8点

番号	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	品質形状等	掲載番号	出土地点 層位
12	(21.9)	12.4	2.6	安山岩、石皿、動物彫刻付	30集 第110図-113	P-8 II層
13	2.3	1.8	0.9	珪質頁岩、石篋(大石平型)	30集 第65図-2	第2号遺物集中ブロック(X-22) 1層
14	3.5	2.2	1.2	珪質頁岩、石篋(大石平型)	30集 第101図-42	N-8 II層
15	2.4	1.6	0.7	珪質頁岩、石篋(大石平型)	70集 第24図-83	Q-7 IV層
16	2.6	1.9	1.0	珪質頁岩、石篋(大石平型)	70集 第24図-84	R-6 IV層
17	2.1	1.2	0.7	珪質頁岩、石篋(大石平型)	70集 第24図-85	T~V IV層
18	2.9	1.3	0.8	輝緑凝灰岩、磨製石斧、小型、完形品	70集 第26図-125	T-8 IV層
19	2.2	1.2	0.3	輝緑凝灰岩、磨製石斧、小型、完形品	70集 第26図-126	T-8 IV層

## 土製品

27点

番号	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	品質形状等	掲載番号	出土地点 層位
20	(21.9)	16.1	2.4	土偶、頭部欠損、乳房剥離、刺突、格子状沈線、腹部窪み股下高6.6cm、腹幅5.5cm、上肢長9.7cm、足背高1.8cm	30集 第111図-1	右足(つま先除く): I-12 その他: M-13 IV層
21	(10.7)	(9.0)	4.1	土偶、肩部貫通孔、腹部窪み、腹部～下半欠損、前頭高4.3cm、頭幅3.4cm	30集 第111図-2	C-12 II層
22	3.4	3.4	2.7	土偶、頭部のみ残存、首に格子状沈線、左右貫通孔、前頭高3.4cm	30集-第28図-1	竪穴式住居跡 覆土1
23	3.9	3.0	3.1	土偶、頭部のみ残存、首切断部にアスファルト付着	30集 第111図-3	P-13 IV層
24	3.1	2.8	2.1	土偶、頭部のみ残存、首に縦位沈線	30集 第111図-4	N-4 IV層
25	4.1	3.3	3.1	土偶、頭部、首部格子目状沈線	70集 第30図-1	S-7 IV層
26	3.7	2.7	2.4	土偶、頭部、首部格子目状沈線	70集 第30図-2	T-7 IV層
27	2.8	2.6	2.1	土偶、頭部	70集 第30図-3	V-11 IV層
28	3.8	3.4	2.7	土偶、頭部	70集 第30図-4	Q-16 IV層
29	4.2	3.3	-	鐸形土製品、山形・V字状沈線、開口部円形、開口径3.5cm×3.6cm	35集 第29図-6	R-18
30	5.0	3.3	-	鐸形土製品、沈線(平行・渦巻)、開口部円形、開口径2.4cm×2.4cm	45集 第25図-2	Fトレンチ IV層
31	5.3	3.8	-	鐸形土製品、平行沈線、刺突、開口部円形	30集 第28図-3	竪穴式住居跡 覆土4
32	4.8	3.8	-	鐸形土製品、平行・縦位蛇行沈線、開口部円形、内外面煤付着、開口径2.8cm×2.7cm	30集 第112図-28	Q-8 II層
33	5.2	3.0	-	鐸形土製品、地文(LR縄文)、開口部円形、開口径2.3cm×2.1cm	45集 第25図-4	Fトレンチ IV層
34	4.2	2.9	-	鐸形土製品、無文、開口部円形、内面煤付着、開口径3.0cm×3.1cm	35集 第29図-5	R-18
35	2.8	2.1	-	鐸形土製品、無文、開口部楕円形、内面煤付着、開口径2.2cm×1.9cm	30集 第112図-30	W-19 I層
36	1.8	1.8	0.8	耳飾、平面形円形、断面形椎骨状、中央部分に貫通孔有	30集 第113図-58	
37	1.7	1.7	0.9	耳飾、平面形円形、断面形椎骨状、中央部分に貫通孔有	30集 第113図-59	
38	1.8	1.8	0.7	耳飾、平面形円形、断面形椎骨状、中央部分に貫通孔有	30集 第113図-60	
39	1.8	1.9	0.8	耳飾、平面形円形、断面形椎骨状、中央部分に貫通孔有、赤彩有り	70集 第32図-56	Q-16 IV層
40	1.5	1.5	0.8	耳飾、平面形円形、断面形椎骨状、中央部分に盲孔有	30集 第113図-61	
41	2.4	1.3	1.2	有孔土製品、刺突文、孔幅0.3cm	30集 第67図-11	第2号遺物集中ブロック(X-22) 3層
42	2.1	2.1	1.0	有孔土製品、円形沈線、刺突文、孔幅0.6cm	30集 第67図-12	第2号遺物集中ブロック(X-22) 1層
43	2.1	1.6	1.4	有孔土製品、逆三角形、横位沈線、側面から上部へ二方向に穿孔	70集 第32図-55	U-8 IV層
44	4.3	10.4	4.4	動物形土製品内蔵土器底部、頭部刺突、左右脚部の最大径4.9cm、前頭高0.7cm、頭幅0.8cm、体長4.6cm	30集 第111図-12	J-10 IV層
45	3.9	2.2	1.7	動物形土製品、熊形、渦巻文、刺突	60集 第34図-4	SK-36A 底面直上
46	6.6	4.8	1.5	手形付土版、片面に子供の手形(右手)、裏面に大人の手形	70集 第31図-47	Q-18 IV層

## 石製品

21点

番号	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	品質形状等	掲載番号	出土地点 層位
47	(5.2)	(4.5)	1.2	三角形岩版、泥岩、研磨痕有り、一部剥離	30集 第118図-163	Q-8 II層
48	5.8	6.0	1.8	三角形岩版、泥岩、赤色顔料塗布後削って施文	30集 第118図-161	J-11 IV層
49	4.1	(4.5)	1.1	三角形岩版、凝灰岩	70集 第40図-69	S-6 IV層
50	5.2	5.5	1.6	三角形岩版、凝灰岩、完形品、沈線	30集 第118図-165	L-13 IV層
51	7.0	6.9	1.5	三角形岩版、凝灰岩、プーマラン状、渦巻状刻線	35集 第31図-58	R-18
52	6.2	6.7	1.5	三角形岩版、泥岩	70集 第40図-73	Q-10 IV層
53	6.2	5.3	1.7	三角形岩版、凝灰岩、施文後三又状に掘り込み、研磨痕有り、一部剥離	30集 第118図-160	J-11 IV層
54	5.6	(5.2)	1.5	三角形岩版、凝灰岩、研磨痕有り、頂角欠損	30集 第117図-150	A-10 IV層
55	4.6	7.0	1.1	三角形岩版、凝灰岩、一部剥離	30集 第117図-157	J-23 I層
56	4.1	3.4	1.3	三角形岩版、泥岩	70集 第40図-61	R-4 IV層
57	5.0	4.2	1.3	三角形岩版、泥岩、研磨痕有り、一部剥離	30集 第29図-26	竪穴式住居跡 覆土1
58	5.2	4.9	1.2	円形岩版、泥岩、完形、側面に刻線あり	55集 第39図-32	H-2 盛土中
59	3.7	3.7	0.9	円形岩版、泥岩、片面に渦巻状の刻線、裏面に円形状の刻線	70集 第41図-87	T~V IV層
60	4.1	4.0	0.8	円形岩版、泥岩、両面に同心円状の渦巻状刻線	70集 第41図-86	P-16 IV層
61	3.7	2.4	1.2	その他の岩版、凝灰岩、左右側面が内湾する	30集 第120図-206	F-12 II層
62	3.3	4.0	0.7	その他の岩版、泥岩、下部中央が突出する、赤色顔料付着	30集 第120図-208	E-4 IV層
63	5.6	5.1	2.4	碗状石製品、泥岩、回転作用による窪み(深さ1.3cm)	30集 第115図-109	D-0 IV層下
64	8.3	6.9	4.1	碗状石製品、凝灰岩、削りによる窪み(深さ2.4cm)	30集 第115図-111	E-3 IV層下
65	12.4	5.7	2.2	軽石製石製品、軽石、辺の長い台形、各面が面取り	70集 第46図-197	Q-10 IV層
66	11.8	8.0	5.9	石冠、安山岩、全面に研磨が施され、特に底面が顕著で平滑になっている	85集 第109図	第7号特殊組石
67	9.3	2.8	2.4	男根状石製品、凝灰岩、亀頭の長さ3.1cm、隆起帯の長さ1.4cm、基部の長さ4.8cm	30集 第115図-108	G-14 IV層

註：表中計測値の( )は残存値。

## 県天然記念物の指定の解除について

- 1 文化財の種別 県天然記念物
- 2 名称 やくしじ いしわり  
薬師寺の石割カエデ
- 3 員数 1本
- 4 所在地 黒石市大字温湯字鶴泉12-4
- 5 所有者 宗教法人薬師寺
- 6 指定年月日 平成26年4月18日

### 7 指定事由

薬師寺の石割カエデは、温湯層軽石凝灰岩の岩盤という悪条件下にありながら、幹周520cmもの大木となり、500年という長寿を保ってきた。幹は空洞となり、表面には、更新された幹や根の瘤で節くれ立ち、盛り上がり、見る者に長年月に耐える命への畏敬の念を起こさせる。形状や樹齢、生育条件などを総合して見た場合、当該カエデは、カエデとしては他に類例のない価値の高いものと言える。

### 8 指定時の写真



### 9 経緯

#### (1) 平成30年度

所有者から樹勢が衰えていると報告があり、担当課職員及び樹木医が現地調査を実施。

【樹木医の所見：若い芽も出てきているので、回復する見込みあり】

#### (2) 令和元年度

根の露出により腐朽が進んでいたため、県費補助事業として土壌改良を実施。

(3) 令和3年度

樹木医が現地調査を実施。

【樹木医の所見：衰弱の大きな原因は、ナラタケ病とヒラタケ病による腐朽菌】

(4) 令和5年度

所有者から枝の落下による人的被害等を防止するため、維持の措置として枝を剪定したと報告があった。

(5) 令和6年度

所有者から倒木により幹の約2/3がき損したと報告があった。

所有者からの報告を踏まえ、担当課職員及び樹木医が現地調査を実施。

【樹木医の所見：完全に枯死しているかそれに近い状態であり、回復の可能性は極めて低い】

(6) 令和7年度

前年度と状況の変化があるか確認するため、担当課職員及び樹木医が現地調査を実施。

【樹木医の所見：萌芽は確認できず、枯死したとみなすことができる】

上述の現地調査を踏まえ、所有者から「薬師寺の石割カエデ」の滅失届が提出された。

10 現在の写真

